



北鹿新聞に代表河崎を掲載いただきました

『北鹿新聞』（2019/4/5付）6面特集“ざっくばらんに”にて、当団体代表、河崎の取材記事が掲載されました。なぜ秋田県大館市にLiveYourDreams株式会社を設立するのか、河崎の想いと考えを語っております。2020年度より必須化となる小学校のプログラミング教育の先駆けとなるよう、若手人材育成にも注力して参ります。

2019年(平成31年)4月5日(金曜日) (6)

大館市に移住を決意 河崎 呈さん 大分県出身

「ざっくばらんに」

大館市へ移住を決めた河崎呈さん(34) 大分県出身。市内で株式会社「Live Your Dreams」設立を計画している。新学習指導要領実施に伴い、2020年に必修化となる小学校プログラミング教育の取り組みを又々功裏に終えた。移住や移住者としての思いを聞いた。

大館を訪れた経緯は、

「元籍していた名古屋市の映像制作会社が、大館市のサテライトオフィス(出先拠点)事業を活用したことを機に、昨年初めて来市しました。本業のほか、県外大学生が市民を巻き込みながら展開した各プロジェクトにも関与。学校現場では、プログラミングに関わる教材はあまりなく、関連企業に頼らざるを得ない現状と聞きます。じゃあ僕たちがそれにならう、作ろうと退社し、起業を決意しました」

「プログラミング教育について、」

「ロボットは多言語を話せるため、英語圏や歴史上の人物になりきった劇などに活用できます。知識技術だけでなく合わせて論理性、協調性も学べ、今後確実に需要が伸びていきます。プログラミングをツールに子どもたちが社会課題を考え、解決法を探る機会を創出。将来の社会で活躍する機会を増やすことに特化したビジネスを展開したい」

「なぜゆかりのない大館で、」

「小さなコミュニティが点在する地方都市。決して有利とさええない状況下で、世界に通じるモデルづくりができる。特に大館は民間、行政、教育の連携が普通ではできない早さで実現できると思ふ。多くの人種が合う中で可能性を感じました」

「周りで関わってくれる大館の若者、子どもたちが笑顔で活躍するのが一番大事。私の周りにいる人が笑っているのを感じていたとき、協力を得て、応援してくださるようになってくれれば。地域の中でお金を稼ぐのではなく、県外や海外を相手に仕事をしてお金を大館に持つてくる。そんな仕事ができる若者を私が育てます」

「移住者として、」

「大館はいい意味で、生活のハードはゆとり。地元で頑張っている人と温厚やご飯を楽しみながら、つながっていきたい。進歩はゆとりでも多くの人と関係を持ちながら進む。みんなが好奇心を軸に、気付いたら全速力になってるようなのがいい。周りが笑顔で、常に自分の意志で決断して前に進んでいくような環境づくりがしたい」

「社の今後の展望は、」

「大館出身者たちで構成される会社。本年度は、市内小学校の協力を得てモデル校を実践します。年間を通して各教科でできるように、地元企業なども連携しながら教員向けのワークショップ開催やカリキュラムづくりを検討。新学習指導要領もクリアしながら、楽しく魅力的な授業の提案がしたい」

「地方に『ない』で『できない』から早く都立出たいと思う若者が多いのでは。職業選択や文化体験がなく、もっと自由な選択ができる時代。外からたくさんの方が来る状況をつくれれば、出会いも増える。自分たちが美はいろいろなことに挑戦できる可能性に気がつくかにも思っています」

大館出身者で構成を

大館で会社設立を計画
プログラミング関連で

(2019年4月5日 北鹿新聞)

<本件に関するお問い合わせ先>

Live Your Dreams
担当：広報チーム 鈴木

Email : <https://www.liveyourdreams.tv/contact>